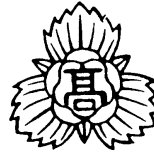


山形県立寒河江高等学校 学校だより

ぶん すい れい  
**分水嶺**



平成 31 年 1 月 31 日

第 21 号

# おはようございます！

校長 小川 秀人

変化の激しい時代の中で、日本で暮らす私たちにとって一つの区切りとなるであろう新しい年が明けて、はやひと月が経とうとしています。三年生の多くはセンターテストを終え、二次試験に向けた講習や私大一般入試への追い込みに入っており、一・二年生にとっては、厳しい寒さの中、部活動や日々の授業に余裕のない日々を送っている者も多いことと思います。朝、生徒玄関に立って挨拶をしていると、なかなか明るい声で挨拶を返してくれない生徒が多く、残念な思いをする日が少なくありません。“たかが挨拶、されど挨拶”であり、近い将来社会に出ていく君たちが、その所属する組織で最初に人となりを判断されるのは“挨拶”がしっかりできるかできないかということです。それは社会がこの先どのように変化しようとも、不変のことであろうと思います。「挨拶されたから挨拶を返す」という姿勢から一歩進んで、「**挨拶される前に、自分から挨拶する**」ことを心がけてもらいたいと思うのです。その心の持ち方こそが、あなたたちを大きく成長させる最初の一步となるはずです。

美濃出身の幕末の儒者で、神田・湯島に設立された昌平坂学問所の塾長を務めた**佐藤一斎**の言葉に「**春風を以て人に接し、秋霜を以て自ら肅(つつし)む**」(『言志四録』)という有名な一節があります。「人に対するとき、春風のように心穏やかで和やかな心、伸びやかで寛大な心で接し、自分に対するとき、秋の霜のように烈しく厳しい心で律していかなければならない」ということでしょうか。弱い人間である私自身、このとおりにいかなければならないか、心に余裕のない時などむしろ「人」と「自ら」が逆になってしまうことさえ少なくありません。だからこそ、折に触れてこの言葉を思い返し、毎朝人より先に挨拶をするように心がけてきました。人間は努力をしていけば迷うにきまったもの。恥ずかしがり、面倒くさがりの自分から一歩成長するためにも、毎朝の挨拶からはじめて、謙虚に学ぶことを始めてみませんか。

全豪オープンテニスで、大坂なおみ選手のプレーや言動を目にする機会がありました。技術的な成長はもちろんですが、彼女の精神面の成長に驚かされます。自分を成長させようとする強い意志と、それを支える謙虚な姿勢が彼女の活躍の原動力なのでしょう。十代後半のあなたたちにも、自分を成長させる力は絶対に備わっています。ぜひ彼女の生き方を学び、ひ弱さから抜け出した、新しい自分の姿を目指してください。三年生は卒業まであとひと月、一・二年生は進級まであと二か月です。まずは元気に今日をスタートさせましょう。「おはようございます！」

## MT探究発表会 2月14日(木)実施

昨年に引き続き、第二回目となる「MT 探究発表会」が、2月14日に本校体育館で行われます。開会式の後、午前中はステージ発表の班を除く58の班による「ポスター発表会」が、3グループに分かれて行われ、午後からは予め選抜された7つの班によるステージ発表が行われます。二年生が一年間かけてそれぞれのテーマに沿って研究を重ねてきた結果を、どのように工夫して伝えてくれるか、今からたいへん楽しみです。なお、助言者には寒河江工業高校の高橋剛文校長先生と、谷地高校の岩田正巳校長先生にお願いしております。二年生の皆さん、あと半月精一杯の準備をして臨んでください。

## 寒河江高校・谷地高校合同展 開催迫る！

今回で六回目となるこの展覧会、会場は昨年と同じアズ七日町2Fにある「山形県芸文美術館」で行われます。本校と谷地高校とは、「キャンパス制」という連携事業を行っており、その一環として、この時期に美術部、書道部、茶華道部が合同展を開催しています。幅広い方々に活動を見て頂くため、例年山形市で開催しており、一年で最も寒いこの時期に、各部ともその準備に追われています。県内トップレベルの活動実績を残す、伝統ある両校の文化部活動を一人でも多くの来場者に見て頂ければと願っています。寒い中ですが、どうか皆さんも足を運んでください。なお、行き帰りには雪道に十分気をつけて。

《会場》 山形県芸文美術館 第1・第2ギャラリー（アズ七日町2階）

《会期》 平成31年2月1日（金）～2月6日（水）

10:00～17:00（最終日は15時まで） 入場無料

《展示内容》 寒河江高校・・・美術部作品、書道部作品、茶華道部作品、活動報告、顧問作品  
谷地高校・・・美術部作品、書道部作品、活動報告、顧問作品

《イベント》 茶華道部による茶会 2月3日（日） 同ギャラリーにて 参加無料  
10:30～11:45（一回目） 13:00～14:15（二回目）

### 【第19回東北地区高等学校将棋新人大会】（H30.12.14～15）

### 鈴木 郁人（2-2） 村山 結希乃（2-5） 上位進出ならず

秋田県仙北市田沢湖で行われた上記大会。本校は昨年全国大会出場も果たした吉田貴如の後を受け、男女ともに県予選を突破した鈴木、村山両選手が出場したが、惜しくも予選リーグ突破はならなかった。新たに部活動への昇格を果たした将棋部の今後の活躍に期待したい。

### 【第5回山形県高等学校1年生弓道大会】（H31.1.13）

**祝 優勝 櫻井 愛夏（1-3） 県制覇の快挙！**